



## 奈良県立医科大学眼科ニュースレター Vol. 3

## ご挨拶

教授 緒方奈保子



皆様いかがお過ごしでしょうか？

今年4月、奈良県立医科大学眼科教室に1名の新入医局員を迎えました。1名ではありますが、3人分ぐらい元気で優秀な新人で、医局がとても活気づいています。臨床研修制度が始まって以来、全国的に眼科入局者は激

減しており深刻な問題となっています。日本眼科学会でもあの手この手を考えて下さっているようですが、なかなか画期的な打開策は見いだせないようで、現場の眼科医不足は深刻です。

6月に大学近くの万葉ホールで市民公開講座を開催しました。500名を超える申し込みがあり満員のため申し込みをお断りするほどで、400名を超える多くの近隣の方々に参加していただくことができました。これは「見る」ことの重要性が高まり、眼に対する関心が強くなっていることの表れかとおもいます。このような会を通して奈良県立医科大学眼科が地域住民の方に貢献できることになれば、とおもいます。それぞれの講演もさることながら、奈良県眼科医会理事 大澤英一先生の落語はすばらしく、会場を盛り上げていただきました。ご後援、ご協力いただきました方々にこの場を借りて篤く御礼申し上げます。

診療におきましては、手術室の顕微鏡が2台（Zeiss Resight 付き）とも新しくなったことで手術予定を組みやすくなりました。広角観察システムの導入で硝子体手術の研修も変わってくるとおもいます。さらに、今は研究室の改装をすすめています。新しい机と椅子で、医局員はみんな心新たに頑張っています。

4月に奈良県眼科医会会長 山岸直矢先生が日本眼科医会副会長に就任されました。奈良から全国でのご活躍、同窓会員一同心よりお慶び申し上げます。ご健康にお気をつけられ益々ご活躍されま

すことをお祈り申し上げます。皆様どうか「奈良県立医科大学 眼科ニュースレター」にお便りご意見お寄せください。このニュースレターが同門会の先生方や地域の先生方と教室との連携の橋渡しになることを祈っております。

## 日本眼科医会 副会長就任のご挨拶

日本眼科医会 副会長 山岸直矢



奈良医大眼科同窓会の皆様

本年4月に日本眼科医会副会長に就任致しましたので、ご報告とごあいさつを申し上げます。これも皆様のご支援のおかげと感謝いたしております。

私は昭和49年に奈良医大を卒業しました。昭和62年以来、現在まで母校で解剖学や眼科学の非常勤講師を務めさせていただいています。平成5年に岡繁宏先生の後任として社会保険支払基金審査委員に選任されました。平成8年に日本眼科医会社会保険委員会委員の増員があり、当時の奈良県眼科医会会長岡繁宏先生から委員に推薦していただきました。以来4期8年間務めさせていただきました。平成16年には日本眼科医会会長に三宅謙作先生が選出され、いきなり私を社会保険部担当常任理事に推挙していただきました。CL検査料の保険導入や日本眼科社会保険会議の設立、運営などを担当し、4期8年間常任理事を務めさせていただきました。

平成24年に日本眼科医会会長に高野繁先生が再任されたとき、竹内忍先生の後任として推挙していただき、副会長に就任することになりました。

もとより浅学非才であります。これからは新たに公益社団法人となりました日本眼科医会の副会長・代表理事として、会務全般をバランスよく理解し、将来を見通して考え、そして何よりも若い人達を大いに応援していきたいと思っています。

これからも皆様の一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

## トピックス

平成24年6月3日に奈良県橿原市の橿原万葉ホールで、市民公開講座を行いました。当教室より緒方先生、松浦先生、湯川先生、上田先生がそれぞれ担当の眼科疾患について講演し、また大沢眼科の大澤先生が自作の落語「老婆（ローバ）の休日」を披露されました。当日は400人以上と大勢の方々に参加して頂きました。参加者からは大変参考になったと好評を頂き、無事講座を終了することが出来ました。



## 学位取得者の紹介

昨年は山田摩利子先生が「Multifocal visual-evoked potentials in patients with schizophrenia during treatment」の研究で、また小島正嗣先生が「Multifocal electroretinograms in age-related macular degeneration before and after photodynamic therapy」の研究で学位を取得されました。学位取得にあたり先生方から一言コメントを頂きました。

### 阪南病院 医長 山田摩利子先生

平成23年5月に、学位を取得させていただきました。その節は緒方教授はじめ、多くの先生方のご指導、ありがとうございました。また、7月には同窓会講演会の一般公演で発表するという大舞台まで用意していただき、感謝しております。

### 県立奈良病院 医長 小島正嗣先生

奈良医大眼科に入局し10年、大学院を修了し数年、、、ようやく学位を取得することができました。自分のような人間が学位を取得できたのは、120%周りの方々のお力添えのおかげです。この場をお借りして心から感謝申し上げます。今後とも何とぞ宜しくお願い申し上げます。

## 新入医局員の紹介など

平成24年4月より上田先生が学内講師となりました。また平成24年4月より新入医局員として山下真理子先生が入局されました。さらに平成24年4月より助教として丸岡真治先生が大学に戻られ、7月より学内講師となりましたのでそれぞれの先生方にコメントを頂きました。

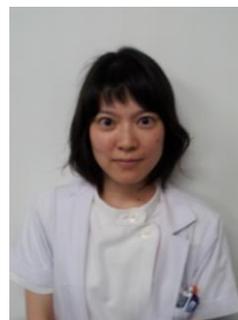
### 学内講師 上田哲生先生（平成10年卒）

私はこれまで関連病院（大淀病院、南和歌山医療センター）で4年ほど勤務しておりましたが、ここ4年間は大学で働いております。現在、網膜硝子体疾患を中心に臨床、研究を行っております。今後とも宜しくお願いします。



### 後期研修医 山下真理子先生（平成22年奈良医大卒）

本学卒業後、本学附属病院で2年間の初期研修を経て、平成24年4月より入局させて頂きました。眼科医としての第一歩をスタートできることに喜びと同時に責任を強く感じています。まだまだ未熟者ですが、諸先生方のように立派な一人前の眼科医に近づけるよう精一杯頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



### 学内講師 丸岡真治先生（平成10年奈良医大卒）

関連病院（県立奈良病院、済生会中和病院）でおよそ5年間の勤務を終え、今年の4月より大学で助教、7月より学内講師として勤務させて頂いております。大学では角膜疾患を中心に診療をさせて頂く予定です。若輩者ではありますがお力になれるような症例がありましたらご紹介頂ければ幸いです。



現在の医局員（外来にて）

## 太田丈生君に

突然の訃報を聞いて、まだ信じることができない。今にも研究室のドアを開けて、松浦先生  
こんにちは！と入ってくる気がする。

そういえば、君が眼科で最初に白内障学会で発表するとき銀座で飲んだな、君の東京の同級  
生の友達も、眼科とは関係ないけど、呼び出して騒いだな、楽しかったな。もてて、かっこよ  
くって、服や持ち物そして車にこだわっていたな。

昨夜、思い立ち、一緒に行った、三ノ宮のバーに行ったよ。まあ、なんでも好きなもの飲ん  
でいいよ、というと、先生、僕、前から飲みたかったスコッチがあるんですけど？うん、いい  
よ。それじゃ、バランタイン 30 年トリプルでロック、、、さすがに沈黙したぞ。そして、うま  
そうに飲んでいて君の横顔を思い出す。こんなすごい酒、飲むことはそうないだろうと、今回、  
頼んだよ、まろやかでおいしいなあ。

この年になると、楽しく食べて、飲める友人、先輩、そして後輩はめったにいなくて得難  
いものであることがわかる。君は間違いなく僕にとってその一人であった。仕事も真摯で、身  
を削りそうな打ち込みを何度も見た。だから、手術もうまかった。センスがあったよ。だから、  
今、毎週のポリクリの白内障手術の説明に君の手術のビデオを使っている。著作権を無視して  
ごめんよ。

僕は、7月から大学でまた一緒に仕事ができると喜んでいて、君との論文も仕上げで英文誌  
に投稿するところだった。本当に惜しい。

もっと言いたいことはあるが、あまり長いのは野暮だろう、好きな詩をおくる。君がまた陽  
関を通過して帰って宴席を開ける気がするからだ。

渭城朝雨潤輕塵

渭城の朝雨輕塵をうるおす

客舎青青柳色新

客舎青青柳色新たなり

勸君更盡一杯酒

君に勸む更に盡くせ一杯の酒を

西出陽關無故人

西のかた陽關を出ずれば故人無からん

合掌

松浦豊明

## 新規開業のご紹介

### 加藤正幸先生（平成13年奈良医大卒）

平成24年6月1日に、宝塚市のJR中山寺駅前でかとう眼科を開業いたしました加藤正幸です。平成13年に奈良医大を卒業後、眼科医局に入局、大学での臨床研修を経て、済生会中和病院、国立病院機構南和歌山医療センター、県立奈良病院で勤務させていただきました。開業にあたり、医局も人員不足のなか無理を聞きいれて頂きました緒方教授をはじめ、お力添えを頂きました同窓会の先生方には大変感謝いたしております。

ところでこの文章を書いている現在、開業して20日立ちますが勤務医時代とは違った毎日に悪戦苦闘しております。勤務医時代は、開業したらのんびりとやっていくような生活を思い浮かべておりましたが、大間違いでした。医院を経営することの大変さを思い知った次第です。診療以外の雑務の多さを思い知りました。帰宅後疲れ果てて、焼酎を飲みすぎている毎日です。勤務医時代が懐かしいですが、とはいえ開業した以上頑張ろうと思います。

今後ともご指導どうぞよろしく願いいたします。



### 奈良県立医大 眼科外来診察表

	月	火	水	木	金
1診	松浦	上田	交代制	緒方	交代制
2診	丸岡	岡本	専門外来	大萩	専門外来
3診	西野	西		峯	
4診	林	長谷川		増田	
5診	山下	下山		小林	

専門外来は完全予約制です。

初診の場合はまず、月・火・木の外来を受診するようお願い致します。

また水・金も地域連携の予約が2名可能となっております。

## 同窓会副会長 岡田安司

一昨年、長年連れ添った家内を亡くし、途方に暮れているのも束の間、今年の10月10日（目の愛護デー）に再婚しました。口の悪い同級生は「岡田は前の嫁さんを殺したんや。」と陰口を叩いていますが、決してそうではありません（笑い(´o`))。家内とも家族ぐるみでお付き合いさせて頂いていた知人で、家内が亡くなってから何かと話し相手になってもらっている内に、成るようになったわけでした。娘達は少々あきれ顔でしたが、彼女たちもよく知っていたので抵抗は無かったみたいです。結婚したときはまだ39歳でしたが、初婚と言うことも有り最初から子どもを欲しがっていました。昨今、年の差婚がはやっていますが、彼女とは13歳差で今から子どもが出来たら孫みたいだと思っていましたが、妊娠を知ったときは覚悟しました。

順調にお腹の中で成長していたかと思っていたのですが、今年になって切迫早産で母子医療総合センターに緊急入院になりました。当分入院になるかと思っていたら、1月19日に907gで生まれました。その後病院で5月の連休まで順調に育てて頂いて、今では3400gに達して、無事家に戻ってきました。毎日育児に奮闘しています。上の娘達を育てた頃はまだ医師に成り立てで育児は任せっきりでしたので、本当に初めての経験です。一昨年までは60歳になったら仕事から手を引こうと考えていましたが、今ではこの子が成人するまで頑張ろうと思うようになりました。毎日が楽しくて仕方がありません。

全然同窓会と関係ない話で誠にすみませんでした。



平成24年度 眼科教室同窓会講演会 プログラム

【一般講演】 14:00~14:20

「Multifocal electroretinograms in age-related macular degeneration before and after photodynamic therapy」

県立奈良病院 眼科 小島正嗣

【教育講演】 14:20~15:00

「眼科社会保険の見方、考え方」

日本眼科医会 副会長

山岸眼科医院 院長 山岸直矢 先生

【特別講演】 15:00~16:00

座長 奈良県立医科大学眼科 教授 緒方奈保子

「糖尿病網膜症：最近の話題」

九州大学大学院医学研究院眼科学分野

主任教授 石橋達朗 先生

※講演の後に3F 志摩の間にて懇親会を予定しております